



内灘町総合防災訓練 消火訓練



かなめ  
地域防災力の要

文化財防火デー 火災防ぎよ訓練



特集

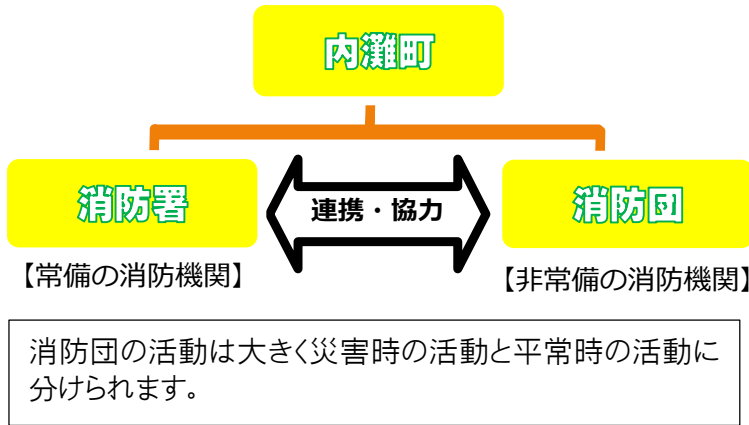
内灘町消防団

内灘町総合防災訓練 応急救護

消防団ってなに？

消防団とは、消防組織法第 9 条に基づき市町村に設置されている消防機関です。地域防災力の要として位置付けられており、住民の生命・身体・財産を守るためには欠くことのできない存在です。

消防団員は、常勤の消防職員が勤務する消防署とは異なり、火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場へ駆け付け、その地域での経験を生かした消火活動などの災害対応を行う、非常勤特別職の地方公務員です。



地域における防火・防災リーダーとして  
愛する「まち・ひと」を災害から守るために

内灘町消防団は5つの分団で構成され、内灘町内に在住・在勤の方94人が所属しています。内灘町消防団は、愛する「まち・ひと」を守るため、自発的参加と厳格な指揮命令のもとで活動することを基本としています。常備消防である消防署と連携し、火災、風水害、地震などによる被害の軽減を目的とし、地域にお

ける防火防災リーダーとして地域の住民の安心、安全を守るため、平常時から円滑な活動を実施するとともに、消防団活動における技術、知識の向上を目的として教育しています。また、近年多く発生している巨大地震や豪雨などの自然災害の捜索・救助活動、大規模火災に対応するため、自主防災組織等の



消防団・消防署 合同火災防ぎよ訓練

一般住宅への防火診断や防火啓発活動、防災訓練での講話や訓練指導など、地域に密着した活動を行います。



平常時

常備消防である消防署と連携協力し、消火活動、救助活動、水防活動、捜索活動などに従事します。



災害時

地域の防災訓練にも積極的に参加し、地域防災力の向上に貢献しています。



内灘町消防団出初式



ポンプ車操法優勝の第一分団



小学生の消防団見学

# 消防団の現状

消防団は「自分たちのまちは自分たちで守る」という強い正義感のもと来る災害に備えています。災害が起きた時に、地元に着している消防団員の力は必要不可欠なものです。

しかし近年、地域「コミュニティー」の希薄化や若者世代の地元離れなどにより、全国的には団員数は減少の一途をたどっています。内灘町消防団では、幸いにも必要定員を充足できている状態が続いていますが、今後消防団員を確保し、内灘町という故郷を守っていくためにも、住民の皆様のご理解とお力添えが必要です。

## ○内灘町消防団の歴史

内灘町消防団の歴史は古く、その起源は100年前に遡ります。

- ・明治44年
- ・内灘村消防組が発足
- ・昭和14年警察の補助機関として内灘町警防団に改称
- ・昭和22年消防団令の交付
- ・内灘村消防団に改称
- ・昭和37年町制施行
- ・内灘町消防団に改称

現在に至る。



消防団の車には、ちょっとだけ遊び心も！「119」と分団の番号「41-19」や「31-19」を組み合わせています！



河北都市消防団出初式放水式



消防団長 月野 秀人

消防団は、災害・防災に関して消防署だけではまかなえない部分をカバーしています。我々はこれをよく「常備一体」の関係と呼んでいます。消防団なしに防災は語れません。消防署は行政側ですが、町民側にある組織が消防団です。そして、消防団の強みに、災害に多くの人員を投入する「要員動員力」、地域住民の事情がわかる「地域密着性」、迅速な招集で災害対応できる「即時対応力」の三つの力があり、地域の中核的存在を担っています。

内灘町消防団は、近隣市町の中では若い方が多く、5つの分団と数が多いこともあり、消防団員同士の仲が良いという特徴があります。

これから「消防団に入りたい、興味がある。」という方は、消防署までご連絡ください。内灘町消防団は、「一緒に「故郷うちなだ」を守りたいという、熱い気持ちの方を歓迎します。」